



# Chu-San-Kan press

チュウサンカンプレス

研究の森から中山間地域を応援します

2012  
Spring  
Vol.4



## 森を枯らす生物の

正体とは？

【森林保護育成グループ】

体は小さいが  
大きな脅威！



## アライグマの

生息分布の拡大に注意！

【鳥獣対策グループ】

家の中!? タヌキ?  
いえアライグマ!



# 森を枯らす生物の正体とは？

【森林保護育成グループ】

**松**くい虫が発生すると数年でマツ林が枯れていきます。

でも、松くい虫という名前の虫はいないんです。

実は、マツを枯らす真犯人は体長1mm程度の「マツノザイセンチュウ」という線虫で、この線虫を運ぶのが「マツノマダラカミキリ」という昆虫なんです。

つまり、松くい虫の正体は、昆虫が線虫を運ぶことで引き起こされる伝染病だったんです。

松くい虫は、正式には「マツ材線虫病」といいます。



## 感染はこうして起こる

5月下旬から7月下旬、マツノマダラカミキリ（以下、カミキリ）が前年の枯れマツから脱出します。

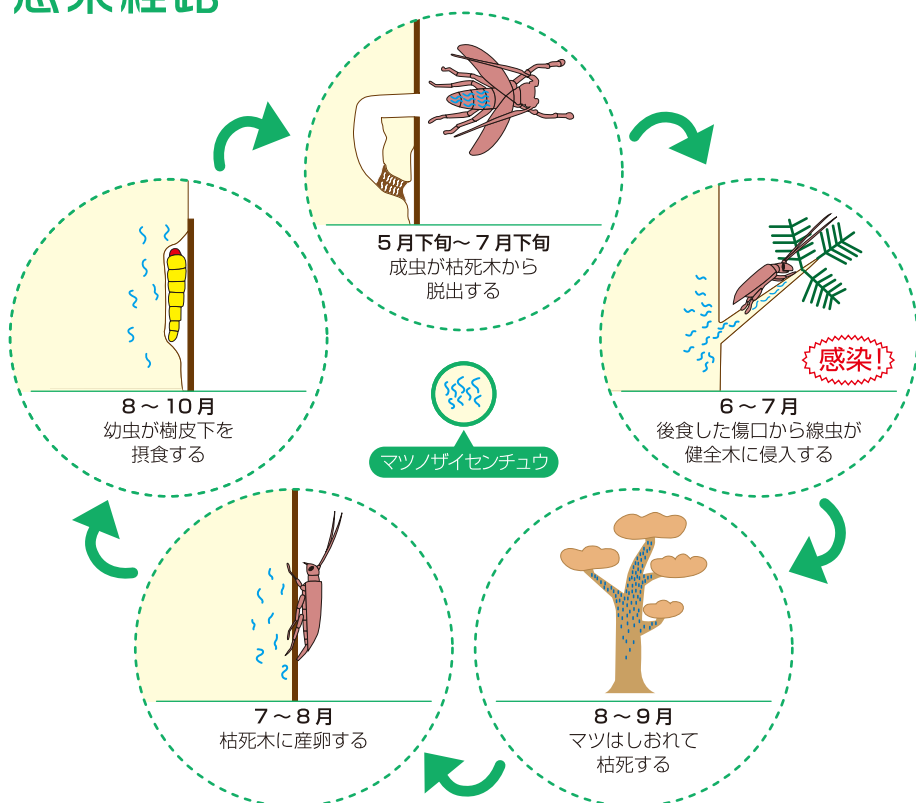
このとき既にマツノザイセンチュウ（以下、線虫）はカミキリの体内に入り込んでいます。このカミキリが生きたマツの小枝を食べると、その傷口から線虫がマツの中に侵入することで感染し、マツを1～2か月で枯らしてしまいます。

この枯れて間もないマツへカミキリが産卵し、ふ化した幼虫が翌年、成虫となり線虫を体内に入れて脱出していきます。



↑ マツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリ

## 感染経路



## 対策

松くい虫は伝染病です。対策には感染路を絶つことが重要です。

運び屋のカミキリを駆除する方法には、産卵された枯れ木の焼却や薬剤処理があります。

また感染予防として、元気なマツへ薬剤注入する方法がとられています。

センターでは新たな方法として、カミキリの天敵を使った技術も開発しました。



↑ 天敵の菌によって死亡したマツノマダラカミキリ



# アライグマの

## 生息分布の拡大に注意！

【鳥獣対策グループ】



### 特定外来生物とは？

もともと日本にいなかった生物で、人間によって日本に持ち込まれたもののうち、とくに生態系などに被害を及ぼすものをいいます。

かごワナで捕獲されたアライグマ

## アライグマの生息、被害及び捕獲状況

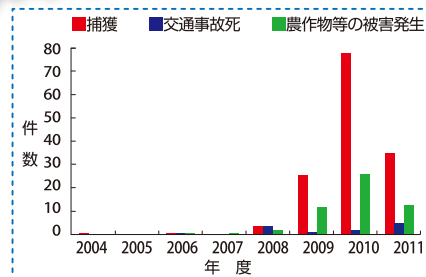
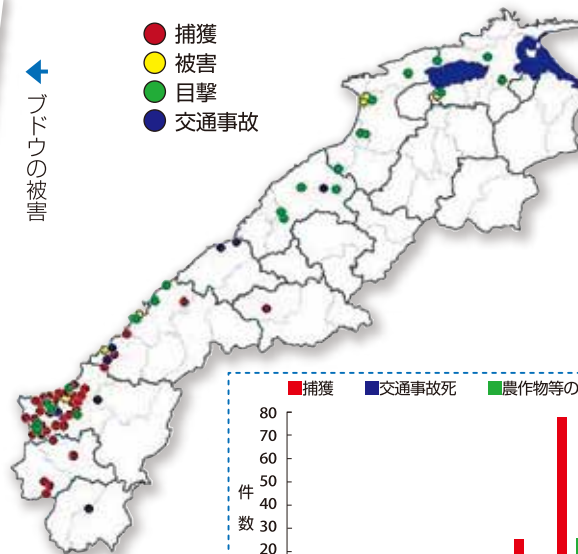
特定外来生物であるアライグマは、北アメリカからペットとして輸入されましたが、全国各地で山野へ放たれたり、逃走したことによる野生化が問題になっています。県内でも益田市のハウスブドウ園では数十万円の被害が発生し、カキやトウモロコシ、家畜用飼料などにも食害が生じて、これまでに146頭が捕獲されました。津和野町、出雲市、松江市でも観賞用のコイや金魚（出雲ナンキン）の食害が発生しています。また、県内の神社での痕跡調査の結果から、隠岐諸島を除いて、ほぼ全域に生息している可能性が高いことがわかりました。



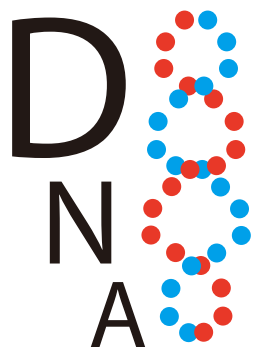
ブドウの被害

■ 捕獲、被害、目撃および交通事故死の分布

- 捕獲
- 被害
- 目撃
- 交通事故



■ 捕獲、交通事故死および農作物被害の件数の推移



## 捕獲個体から手がかりを得る

母系遺伝子であるミトコンドリアDNAの分析によって2母系を認めました。このうち、1母系（98%）がほとんどを占めたことから、益田地域ではこの母系メスを基に増加してきたと考えられます。他の1母系（2%）は鳥取県や広島県三次市で捕獲されたものと同型であることから、最近になって益田地域へ侵入してきたと考えられます。

また、これまでの調査では人獣共通感染症として心配されているアライグマ回虫をもった個体は確認していません。アライグマは繁殖力が高いので、根絶を目指した早期の捕獲対策が必要です。

住民と関係機関が連携し、被害・捕獲対策を継続していくことが**重要**です



# 何でも情報コーナー

## ホームページを覗いてみませんか？

センターホームページでは、皆様に活用していただけるよう、ためになる情報をたくさん掲載しています。また、日々の出来事や県民の森のイベント情報なども盛りだくさんです。是非一度覗いてみてください。

みどころ  
POINT!

### ●「分野別情報」

各研究グループ毎に試験研究のテーマ・研究成果などを掲載しています。

例えば、鳥獣対策グループではセンターで開発した「イノシシ捕獲用箱ワナ」の作り方を掲載しています。

### ●サポートメニュー「分かりやすい試験研究PR」

農林関係の試験研究の内容をできるだけ分かりやすく解説しています。

### ●「県民の森」

楽しいイベント情報などを掲載しています。

### ●「一言コラム」

センターでの出来事や季節の移ろいなどを、情報コーディネーターさんがほぼ毎日写真とともにコラム調に綴っています。読むと何となく「ほんわか」した気持ちになります。「コレを読むのが毎日の楽しみで…」なんて人もいるかも知れません。



## 面倒な耕作放棄地の草刈り

### 牛に任せてみませんか？



お問い合わせは  
資源環境グループまで  
TEL 0854-76-3814

## センター発行図書のご紹介

センターでは研究員の調査、試験、研究成果をとりまとめた報告書や、その内容を分かりやすく解説したパンフレット、ガイドブックなどを発行しています。また、主催した講演会やフォーラムの要旨を資料として取りまとめています。これらの図書はセンター玄関ホールに一覧展示しているほか、ホームページでもご覧いただけます。

希望される方には配布（一部有料）しますので、センターまでお気軽にお問い合わせください。

▼絶賛発売中の本はコチラです!!



●きのこガイドブック  
センター周辺で発生するきのこ約100種を写真やイラストで紹介した自然散策用携帯ガイドブック。  
定価 250円



●島根県中山間地域「産直市」の現状と展開（I～IV）  
魅力的な商品をつくるには？品揃えを充実させるには？生産者の方がいきいきと挑戦するためには？中国地方の元気な直売所や加工所ビジネスのノウハウをご紹介します。  
定価 1,000円

### 編集者のつぶやき…

中山間地域研究センターがある飯南町は、まだまだ朝晩は冷え込みますが、春のおとずれを感じます。

「Chu-San-Kan press」も創刊号から無我夢中で走り、年度末のバタバタを乗り越えて1年を終えました。編集メンバーを代表して、この1年必死でやってきたことを自負しています。新年度は、「わかりやすい」というモットーのもと少し違ったカラーでやっていけたらな…と思っています。(S・S)

次号 特集予告

【企画振興スタッフ】

研修企画担当者さん必見!!  
センター見学ツアー



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press  
研究の森から中山間地域を応援します

2012  
Spring  
Vol.4

編集・発行

島根県中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

TEL 0854-76-2025 FAX 0854-76-3758

WEBで検索

島根県中山間地域研究センター

検索